

シリーズラインナップ



プレミアムシリーズ

冷房能力3.0kW以上の全6機種を冷媒R32採用。環境への負担を配慮した新シリーズ。
※冷媒R32についてはP.05をご覧ください。



スタンダードシリーズ

冷風1口タイプ全5機種。
全閉式ファンモーターを採用し、旧製品と比べ耐久性アップ。



特殊シリーズ

大風量の大型スポットクーラーやフォークリフト用の小型DCクーラーなどの全10機種。
使い方や場所に合わせてお選びいただけます。

場所や用途に合わせて



自動首振り機能



コンパクトドレンタンク



ドレンレス構造



全機種フレキシブルダクト



ワンタッチ着脱リング



排熱ダクト搭載



壁面設置可能



カバー付き操作部

※各機能の有無、詳細は各商品説明をご参照ください。

プレミアム、スタンダードシリーズの性能表示について

2020年4月からスポットクーラーの性能表示が変わりました。

スポットクーラーはこれまで各社独自の方針に基づいた性能表示をしておりましたが、お客様目線で判断しやすくするために一般社団法人 日本冷凍空調工業会標準規格、JRA4040:1993 JRA4039:1993を2018年12月に近年の使用実態に合わせて統合し、JRA4040:2018に規格が改訂されました。これを受け、JRA4040:2018の評価に基づく新しい性能表示が始まりました。

主な規格変更点は以下の通りです。

①定格冷房能力の試験条件について

JRA4040:2018では、近年、室内の作業環境が悪化している背景を受け、一体形の定格冷房能力試験条件を従来の「35.0°CDB/28.5°CWB」から「37.0°CDB/30.0°CWB」に引き上げました。これに伴い、従来の能力表記が変わりました。

<JRA4040:2018に基づいた定格冷房能力試験条件>

項目	改定前	改定後
吸込空気温度 乾球温度	35.0°CDB	→ 37.0°CDB
吸込空気温度 湿球温度	28.5°CWB	→ 30.0°CWB

②定格冷房能力および定格冷房消費電力の許容差について

日本冷凍空調工業会の方針に則り、定格冷房能力および定格冷房消費電力の許容差が見直されることとなりました。これに伴い、従来の能力表記が変わりました。

定格冷房能力: 100%以上

定格冷房消費電力: 105%以下

③定格冷房エネルギー消費効率の表示について

冷房性能の1つとして、新たに定格冷房エネルギー消費効率を規定しました。